

令和4年度表彰のご推薦にあたって（推薦機関向け）

1. ご推薦について

令和4年度の推薦要領の推薦の手続きにおいて、次の変更をいたしました。
主な内容は、手続きに関する部分です。

<変更点>

（推薦要領の表紙）

- ・当表彰は、資源の循環利用に貢献する活動をすべて推薦募集対象にしていること。
また、3Rを通じて、カーボンニュートラルやLCAなどの課題も同時解決するような活動も推薦募集対象である旨を記述

（推薦一覧（推薦機関が作成））

- ・推薦一覧の紙媒体提出を1通のみ変更
（昨年までは「正」「副」の2通。電子媒体1部は変更なし。）
- ・推薦一覧に「連名」チェック項目を追加（連名の候補者の場合のみ記述）

（推薦書（推薦機関が作成））

- ・押印は、電子押印も可能
- ・推薦書の「副」は、「正」のコピーも可（ただし、押印ページはカラー印刷にする）
- ・候補者から推薦することについて事前承諾を得ていることの確認チェック項目を追加
- ・「係争・紛争等の問題は無い」のチェック欄を削除。
ただし、推薦の時点で法令違反の事実があった場合、審査期間であっても資源循環に関する法令違反又は候補者の組織等全体に係る犯罪行為などが明確になった場合などについては、受賞者として不適当と判断することがあります。
- ・「反社会的勢力では無い」のチェック欄を追加。

（候補者の概要書（候補者が作成））

- ・代表者の押印は、不要 → 自動的に「副」は「正」のコピーも可
- ・様式2の2. ⑤の例に「再生プラスチック、バイオマス、」を追加
（例として追加しましたが、対象をこれに限定するものではありません。）

審査は、「審査基準」（6ページ）の評価項目に基づいて行います。

このため、「候補者の概要書」のすべての項目について記述があることが望ましくはありますが、一部の項目にしか記述できないタイプの活動であれば、記述できる項目の内容を出来るだけ詳細に記述くださいますよう、ご案内ください（審査基準の内容は、従前どおりです）。

推薦対象となる取組については、昨年と変わりません（基本的にはモノの資源循環に係る活動がすべて含まれます）。

昨今、新たな技術や企業等の連携によって新たな形の資源循環の取組もあります。こうした活動の中には活動期間が短く実績も少ないものもありますが、独創性・先鞭性、地域性、波及効果といった点において、優れた取組があれば、ぜひご推薦ください（一方、モノの資源循環を伴わない美化運動、気体・液体の排出処理、温暖化抑制、自然保護、生物多様性などの活動は、その活動自体は優れたものであっても、当表彰では募集対象外です）。

例えば、次のような活動も対象となります。

- ・昨今のコロナ禍によって発生した課題を、資源循環を通じて解決した活動
- ・地域や他業種と連携してリサイクルループを作るなど、単独では不可能であった資源循環をパートナーシップで実現した活動

- ・SDGsにも通ずるような他の課題の解決と同時に資源循環を実現した活動、例えば、地域振興、高齢化・過疎化など社会の課題と資源循環を組み合わせで同時解決したような活動
- ・IT（情報技術）と組み合わせで、より高度な、より効率的な資源循環を実現した活動
- ・食品の包装において、保存性を高めるために敢えてリサイクルしにくい多層化にするなど、包装そのものでは資源循環に貢献していなくても、包装された食品が長持ちし、食品ロス削減に貢献するなど、組み合わせ全体ではより良い資源循環を実現している活動
- ・製品などの製造において、局所的には資源循環にならないけれど、製品のライフサイクル全体でより資源循環を実現している活動
- ・製品の小型化・軽量化に取り組んだ結果、視点を変えると材料などの省資源化を実現している活動 等

2. 募集のちらし

活動募集のちらし（添付）を作成しましたので、掲示等にご利用ください。

なお、ポスター下部のお問い合わせ先欄は、貴機関のご担当部署等に上書きしてご使用されても問題ありません。ポスターの原稿（MS PowerPoint）を直接修正して活用されたいなどの場合は、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会事務局までご連絡ください。

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会事務局 表彰係 (電話) 03-5209-7704 (Eメール) 3r-comm@3r-suishinkyogikai.jp
--

以上